アメリカ留学

長谷川遥

私にとって４か月間の留学生活はあっという間でした。初めの方は、緊張して現地の人に自ら話しかけることができず、授業でも積極的に発言することが出来ませんでした。ですが、それではだめだと思い積極的に発言するようになってから、人前で、英語で発言することも恐くなくなり、スピーチもスムーズにできるようになっていきました。授業で自信がつくと、現地の学生と会話することに対しても恐いと思うことはなくなっていました。クラスには中国人と韓国人がいて、彼らとはField Tripなどを通して仲良くなっていきました。彼らは優しく、そして面白くとてもいい人たちでした。Field Tripでは、ESLの学生で動物園や牧場、美術館などへ行きました。Field Tripはもっといろんなところへ行きたいと思うくらいすごく楽しかったです。先生方も優しく陽気で面白く、授業も楽しかったのですが、宿題はとても大変でした。友達と眠い眠いと言いながら夜中までやっていることもありました。でも、英語を身に着けるためには必要なことだし、自分のためと思い投げ出すことはありませんでした。週に２回、１時間ずつ現地の学生と話をするConversation Partnerでは、難しい話からライトな話題まで、さまざまなトピックで話をしました。私のパートナーはGeorginaという女性でした。なかなか相手の言っていることを理解できず、私の言いたいことも相手に伝わらないということが何度もありました。それでも彼女はゆっくり言い直したり、一生懸命理解しようとしてくれたりと、とても優しい人でした。正直私はカンバセーションの時間が憂鬱でしたが、彼女のことが大好きだったので頑張ることが出来ました。私が滞在したのはFranken Hallという寮で、フランケンの住民も優しい人たちばかりでした。私の部屋があった４階は、ネパールの人たちが多く、彼らととても仲良くなることが出来ました。一緒にイベントに参加したり、散歩に行ったり、勉強を教えてくれたり、お互いの母国語を教え合ったりと、ほとんど毎日のように一緒にいたように思えます。Thanksgiving holidayには、FISファミリーのお宅にお世話になりました。彼らもまた、とても優しくThanksgiving当日には、いろんな国の人が集まり、TurkeyやPumpkin pieなどの伝統料理を食べ、たくさんのアメリカ文化を体験することが出来ました。私が向こうの大学で驚いたのは、敷地の広さとイベントの多さです。ライブやパーティーや映画など楽しいイベントが毎日のようにありました。食事も、飽きるということはありましたが、口に合わないということはありませんでした。勉強を頑張って、イベントに参加して、みんなといろんな話をして、あっという間に３か月間が過ぎ、特に最後の１か月は時間が過ぎるのがとても早く感じました。みんなとお別れするときは本当に悲しく、泣いてしまいましたが、いつでもFacebookで連絡が取れるよと言ってくれました。今でも彼らとはFacebookやLINEを通して連絡を取っています。たくさんの素敵な人たちに出会えて、楽しく充実した毎日を過ごせて、アメリカに留学して本当に良かったです。